

障がい者の余暇活動の充実を起点とした多様性の学び舎

【事業費総額 7,313 千円 (WAM助成金 6,722 千円)】



余暇活動プログラム「えがく」



余暇活動プログラム「つむぐ」

団体設立経緯・WAM助成の応募経緯

地域の人々と支えあいながら安心して子育てができる暮らしやすい社会づくりを目的として、平成26年に団体を設立しました。

障害者やその家族に余暇活動の選択肢が少なく、社会的孤立に陥りやすい現状に対応することを目指し、今回の事業を実施しました。

事業実施内容

団体の設立以降、子育て家庭の社会的孤立を解消する支援を実施するなかで、他団体主催の障害者支援への活動場所の提供をきっかけに、障害者やその家族が地域社会へ参加することの難しさを目の当たりにし、子育て家庭への支援だけに留まらず障害者やその家族を含む地域共生を計画するに至りました。

誰もが地域で仕事や余暇を楽しみ自分らしく暮らし、人との関わりのなかで多様性を理解しながら共生する地域社会の醸成を目指すにあたり、まずは誰でも気軽に参加でき、交流を楽しめる「開かれた場」の提供に取り組むべきと考え、行政や福祉関係者、地域の団体や専門職者と連携し、年齢や障害の有無に関わらず地域住民が集い余暇・文化活動を行う場「とあるアトリエ (仮)」を企画し、余暇活動プログラムや交流会を実施しました。

また、参加者が作成した作品のアート展への展示やフォトブックの制作・配布を実施し、県内外の福祉関連団体や地域市民へ積極的に周知活動を実施しました。

事業成果

余暇・文化活動には障害者およびその家族を含む地域住民229名の参加があり、個々の表現を楽しみあう場づくりに貢献できました。

また、アート展は1,125名が参加、フォトブックは1,000部を配布と想定を大きく上回る周知活動となり、地域の誰もが参加できる「開かれた場」の取組みの普及啓発に寄与できました。

同事業に対する評価

これまで子育て支援を実施してきた団体が、障害がある方を含めたインクルーシブな支援へと支援の幅を広げていく発展段階的な取組みでした。障害のある方やそのご家族等それぞれの変化を丁寧にとらえ言語化されている点を評価しています。また、新たな関係団体との連携が生まれ賛同者が増えたことにより、活動の広がりや数値目標の達成に寄与している点も評価しています。

事業成果の評価について研究者等に協力してもらおうなどの工夫を講じ、同団体の取組みに対する社会的認知が高まることを期待しています。

特定非営利活動法人 明日のたね
(山形県鶴岡市)

U R L
<https://tomotane.com/>

